

様式 4

<p style="text-align: center;">令和 4 年度第 1 回</p> <p style="text-align: center;">富士見市公民館運営審議会(鶴瀬地区)</p> <p style="text-align: center;">議事録</p>						
日 時	令和 4 年 5 月 2 5 日 (水)		開会	午後 7 時 0 0 分		
			閉会	午後 8 時 1 0 分		
場 所	鶴瀬公民館 いきいき活動室					
出 席 者	委 員	神木委員	長ヶ原委員	小谷委員	小林委員	
		○	○	○	○	
	事 務 局	鶴瀬公民館長、鶴瀬公民館副館長、駒木				
公 開 ・ 非 公 開	公開 (傍聴者なし)					
議 題	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1)「令和 3 年度富士見市立鶴瀬公民館年間事業報告」について (2)「令和 4 年度富士見市立鶴瀬公民館事業計画」について (3)「令和 4 年度富士見市立鶴瀬公民館予算」について 4 その他 5 閉 会					
議 事 内 容						
(1)「令和 3 年度富士見市立鶴瀬公民館年間事業報告」について (2)「令和 4 年度富士見市立鶴瀬公民館事業計画」について ～鶴瀬公民館長 説明～ 議長 ・年間利用者数について、令和元年度から令和 3 年度までの推移について伺う。 令和元年度はコロナ禍の影響がそれ程なく、4 館で 2 0 万人近くの利用者があり、翌年の令和 2 年度のコロナ禍では 4 館で約 6 万人弱に減ってしまったが、令和 3 年度はどのくらい戻ったか伺う。 館長 ・現在、富士見の公民館の作成中であり、すぐに数値を出せない。						

議長

・コロナ禍であっても利用者にとって、いろいろな形で参加してきた成果が令和3年度には反映してきている事と思う。次回の全体会では数値を教えてほしい。

館長

・事業計画では本来なら、前回の全体会でお示しできればよかったが、遅くなってしまった。利用者の要望が公民館予算に反映できるように、計画を立てた後に予算要求の流れにするのが良いと思う。

館長より事業紹介

・今年度事業では、新規事業としてスマホ講座を実施する。これまで20年間にわたり公民館パソコンサポートクラブの皆様の協力を頂き、実施してきたパソコン教室に代わるものとして位置づけている。

・公民館まつりは500人から600人の来場があった。コロナ禍としては集まった。模擬店申し込み後に辞退した団体があった。

・子フェスは市制施行50周年の冠事業。人数を制限し、市民総合体育館で実施。

・市民大学は、NPO法人市民大学と協働で実施。6/11には「開講式」

・公運審の任期満了に伴い7月から新しい委員が加わる。

委員

・スマホ教室は以前にもあったと思うが新規事業なのか。

事務局

・以前のスマホ教室はつるせ学級で有料で開催したもの。今回は、広く一般向けに回線事業者（ソフトバンク）が無料で開催するもの。

議長

・市制50周年の事業以外に今年の特徴は？

事務局

・これまで、コロナの影響でできなくなってしまったものを実施していく。新たなものはスマホ教室。10月にはwifi設置予定だが、防災目的なもので各事業での活用方針は未定。

議長

・地域自治シンポジウムは実施できなくて残念だった。街づくりに関する近隣市町村事例の発表があり、面白い試みだった。

議長

・公民館運営審議会とは別に公民館企画運営委員会のようなものはないのか？

館長

・以前はあったと記憶しているが現在は無い。

議長

・なぜ、機能しなかったのか。

館長

・社会教育に詳しい職員が減った。職員も市民もマンパワー不足。

しかし、利用連など、似たような組織はある。

議長

・公運審では事業評価でしか関わっていない。公民館利用者としては、利用者懇談会で施設利用についての意見はいう事ができる。

(3)「令和4年度富士見市立鶴瀬公民館予算」について
～事務局説明～

- ・鶴瀬公民館は8つの事業があり、他館より規模が大きい。

(4) その他

挨拶

- ・議長

3期6年間お世話になりました。最後の1期で議長を務めさせていただいたが、ちょうど2年間はコロナ禍だった。答申ではなかったが、審議会の中で「コロナ禍における新しい生活様式の中での施設の在り方」をテーマに議論し、公民館の利用にあたって教育長へも報告を行った。話は変わるが、先日の公民館まつりは盛況だった。発表する場は重要である。これまでに審議会の委員でも公民館カフェなど実施してきたが、地域の方に公民館や地域のことをもっと知ってもらい、活性化を図っていくのが公民館の役割だと感じる。若い世代をどう取り込んでいくかも課題の一つであるが、利用する世代を広げられるよう取り組んでいただきたい。

- ・委員

人のつながり、学びの拠点として公民館ではさまざまな活動をしており、改めて公民館の広さを感じた。コロナで人の生活や社会の仕組みも大きく影響を受け、公園などで一人、パンと牛乳を食べている方も多く、地域に高齢化が進んできていると感じる。人間とは、人の間と書くが、人と人をつなぐのが公民館の役割であり、そうした地域をつくるのが公民館に求められている。公民館の大切さを強く感じた。